

# 女性委員会だより

らくだ



公益社団法人 岐阜県建築士会

〒500-8384 岐阜市藪田南 5 丁目 14 番 12 号

岐阜県シンクタンク庁舎 4 階

（電話）（058）215-9361 〈FAX〉（058）215-9367

## はじめに

女性副委員長 井之口 洋子

らくだ 53 号では新任の挨拶をさせて頂いた副委員長の井之口です。

あっという間に1年目は過ぎ去り、すでに2年目に入っていました。

今年の3月には初めて「気楽にらくだ会」の企画を担当することとなり、私含めて 6 名でのコワーキングスペース見学会&座談会を行いました。

準備段階ではどうしていいのか分からぬこともあります。何度もメールで相談させていただき無事に終えることができました。ありがとうございました。

また、2月の令和 6 年度ブロック美濃・閔大会も無事に終わり、6月には女性建築士協議会の前期会議に参加しまして、この会議があるからこそ、女性委員会の運営がしっかりと毎年引き継がれているんだと実感いたしました。

今年度は数年後に迎える女性委員会発足 40 周年に向けて、準備に入ります。

まだまだ力及ばずの事もありますが、先輩方のお知恵をお借りして残りの任期を頑張りたいと思います。

引き続きよろしくお願ひいたします。



## 今回の記事

◇ はじめに

◇ 今回の記事

◇ 今後の予定・お知らせ

◇ 交流サロン

日 時:令和 7 年 6 月 9 日(月)

場 所:岐阜女子大学

参加者:岐阜女子大学開始学部生活科学科住居学  
(建築デザイン)専攻 19 名アドバイザー 岐阜県建築士会 女性委員会  
(岡田、高野)2 名

施工会社 3 名

県庁技術職員 2 名

その他 大学職員 2 名 支援センター職員 2 名

◇ 建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会

令和 7 年度 前期定例(福井)会議

日 時:令和 7 年 6 月 21 日(土) 13:30~15:15

会 場:WEB 会議(ZOOM 使用) 開催幹事県:福井県

参加者:27名(岐阜県 3 名参加)

◇ セミナー「エスケー化研 建築塗材、遮熱素材の技術等セミナー」

日 時:令和 7 年 7 月 11 日(金)13:00~

場 所:ふれあい会館 405 会議室

日 程:13:00~13:15 受付

13:15~15:00 『建築仕上げ材の基礎知識』及び『屋根、外壁用遮熱塗料について』

15:05~15:55 『色彩の基礎知識』

講 師:エスケー化研 派遣講師

参加者:11名(女性委員 10 名 + 一般士会委員 1 名)

◇ 令和 7 年度 第 34 回全国女性建築士連絡協議会  
(やまがた)

日 時:令和 7 年 7 月 19 日(土)~20 日(日)

会 場:山形テルサと ZOOM

山形県山形市双葉町 1 丁目 2-3

参加者:対面 294 名 リモート 67 名 合計 361 名

(岐阜県から 対面3名、リモート1名)  
テーマ:「山形から発信 みらいへつなぐ木への挑戦」  
~雪・山・川がおりなす食文化と共に~

◇ 編集後記

報告者:高野 栄子

## 今後の予定・お知らせ

- ◆ 第67回 建築士会全国大会 おおさか大会  
日時:令和7年9月19日(金)
- ◆ 建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会  
令和7年度 ブロックいが大会  
日時:令和8年2月21日(土)~22日(日)
- ◆ 気楽にらくだ会  
日時:未定



## 交流サロン

日 時:令和7年6月9日(月)  
場 所:岐阜女子大学  
参加者:岐阜女子大学開始学部生活科学科住居学(建築デザイン)専攻 19名  
アドバイザー 岐阜県建築士会 女性委員会  
(岡田、高野)2名  
施工会社 3名  
県庁技術職員 2名  
その他 大学職員 2名 支援センター職員 2名

## ■建築関連企業等と学生の交流サロン (岐阜女子大学)に参加して

岐阜県の建築人材育成・確保事業の一環で「ぎふ建築担い手育成支援センター」からの依頼で交流サロンに参加しました。

会は3つのグループに分かれ、設計、施工、行政の仕事についてアドバイザーから説明し、学生さんからの質問を受ける形で1回20分づつ、席を変えながら懇談しました。

私たちは設計を担当し、岡田さんが設計事務所の仕事について説明されました。

私はこれからの作図として、BIMについてデモンストレーションをしながら説明しました。

学生さんがこの会を通じ何かを感じ、自分の将来についての参考になれば幸いです。

このような活動が次の建築士会の会員確保に繋がれば良いなと思い、この仕事をするなら資格を取った方がいいと強調し、資格が取れたらぜひ建築士会に入ってくださいとお願いしました。



(↑ サロンの様子)

# 建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会

## 令和7年度前期定例(福井)会議

日 時:令和7年6月21日(土) 13:30~15:15  
会 場:WEB会議(ZOOM使用) 開催幹事県:福井県  
参加者:27名(岐阜県3名参加)

## ■建築士会東海北陸ブロック会

### 女性建築士協議会

### 令和7年度前期定例(福井)会議報告

報告者 岡田 利里

今年度の前期定例会議は、各県女性委員が27名、そして担当県の福井県建築士会の会長が来賓として参加してくださいました。

また、静岡県の女性委員会も、ブロックに参加されるよう検討中とのことで、女性の方がお一人参加して下さいました。

会議は、例年通り報告事項、審議事項までは滞りなく進みましたが、今回は協議事項が比較的多くありました。会議の持ち回り順についてや、事業費と積立金の口座についてなど、細かい事でも年に2回のブロック会議で決めるので大変ですが、7県の合意を得るには必要なのだと思いました。

4時までの予定でしたが、協議事項が多く、「ブロック内で共通のテーマを持った活動を行うこと」の協議は持ち越しとし、臨時会議を後日行うこととなりました。最後に、相談役の長瀬さんの所見をいただく段になって、長瀬さんがZOOM画面で見えなくなってしまい、「長瀬さんがいらっしゃいません！」と騒動になりました。結局、パソコンの接続が切れてしまったとのことで、愛知県の有村さんのスマホ越しに、長瀬さんの所見をいただくことが出来ました。

私も長瀬さんにラインをしたのですが、愛知県の筒井さんも長瀬さんと連絡され、皆さんに報告くださいました。

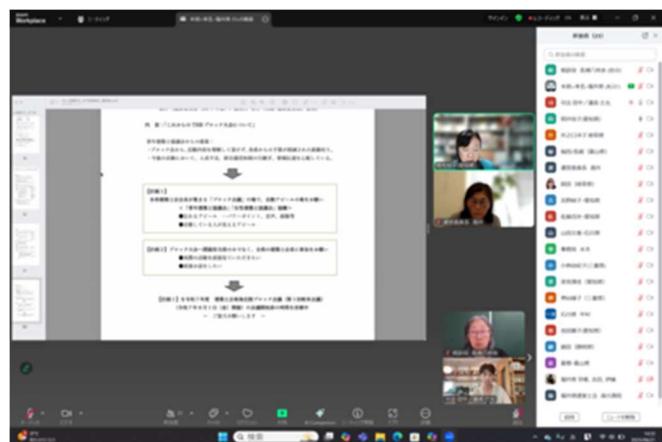
女性建築士協議会の団結力、長瀬さんの県を越えた繋がりを感じました。



(↑ 酒井運営委員長挨拶)



(↑ 森川 福井県建築士会長 挨拶)



(↑ 会議の様子)



## 「エスケー化研 建築塗材、遮熱素材の技術等セミナー」

日 時：令和7年7月11日(金)13:00～

場 所：ふれあい会館 405 会議室

日 程：13:00～13:15 受付

13:15～15:00 『建築仕上げ材の基礎知識』及び『屋根、外壁用遮熱塗料について』

15:05～15:55 『色彩の基礎知識』

講 師：エスケー化研 派遣講師

参加者：11名(女性委員10名+一般士会委員1名)



(↑ セミナーの様子)

### ■セミナーの報告

報告者：桂川 麻里

本日のセミナーはエスケー化研の方に行なって頂きました。

最初は建築塗料の基礎知識のお話でした。メーカーさんなのに製品の説明だけではなく一般的な内容だったのでとても勉強になりました。

最近は住宅の新築ですと工場から塗装された材料等を使用することが多く資料を見ることは減っていましたが、事柄がまとまっている資料も用意して頂いて改修の時などにはとても参考になります。

塗り直しが少ない溶剤塗料が多いかと思っていました

が、環境に配慮されて水性塗料の需要が伸びていて水性塗料でも性能がアップしているそうでそれに適した選択が出来るようになります。

長寿命化仕様についてでは、防水材では新築や下地補修をした改修とは別に塗り重ねの改修をする時用の塗装剤もありますが、更に耐候性のある上塗り材を選択することで本当の長寿命化をはかることが出来るそうです。

マンション等の修繕周期が12年周期から15～18年周期に変わっているということから、新製品も紹介して頂きました。さらにバイオマス原料を含有しているということでCO<sub>2</sub>削減をした材料だということです。エスケー化研では上塗り、下塗りにどれだけ含有されているかバイオスマートマーカーによって目視できるようになっているそうです。

公共建築工事標準仕様書のポイントも教えて頂きました。新築でも改修でもの耐候性についての配慮が必要になり、特記で指示する必要が出来たということで、記入例も教えて頂きました。

遮熱塗料(正式名称：高日射反射率塗料)についてでは、メカニズムについて教えて頂き、施工様に説明しやすくなりました。選定ポイントとしては品質、耐久性、色の選定が必要で、更に遮熱塗料は汚れると熱を吸収し性能が低下するので汚れにくいものを選ぶと良いと教えて頂きました。

質疑応答は活発な質問が出てそれぞれに真摯に答えて頂きました。



(↑ 講師の黒田秀之介氏)



(↑ 講師の都田香氏)



(↑ 講義の資料とボールペン)



(↑ エスケー化研の商品)

後半は建築色彩の基礎知識についてお話しでした。

景観法についてでは、美しい景観とはどういったもの等の話しから入りました。それから考えると、規則的な色彩でまとまっていると落ち着いたものや派手目なものでも美しい景観となるということでした。

景観法はその団体ごとで決まっているので、その地域ごとで最新情報を確認することが重要であることを教えて頂きました。

色彩の基礎知識ではマンセル、日塗工とマンセル値、色の見え方についてお話し頂きました。

マンセルについては日塗工の見方や表示の内容について説明頂きました。これは日塗工のポケット版に小さい字で記載があるのでなすが、なかなかこれを見る方がいないですが、これを参考に色を決定していくのが良いということでした。

本日は短い時間の中でしたが内容の濃いセミナーでとても為になりました。

## 令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会(やまがた)

日時:令和7年7月19日(土)~20日(日)

会場:山形テルサとZOOM

山形県山形市双葉町1丁目2-3

参加者:対面 294名 リモート 67名 合計 361名

(岐阜県から 対面3名、リモート1名)

テーマ:「山形から発信 みらいへつなぐ木への挑戦」  
~雪・山・川がおりなす食文化と共に~



(↑ 受付入り口にて 集合写真)

山形県の地図





(↑ 資料の入っていた袋は、協賛を頂いた「クマリフト株式会社」のおなじみの袋です。テーマが木への挑戦ということでグリーンにしたとの事でした。)



(↑ 会場の山形テルサ)

## 【大会プログラム】

### 令和 7 年 7 月 19 日(土) 【1日目】

・全国女性委員長(部会長)会議 12:00～13:30  
於: 山形テルサ 大会議室

### 令和 7 年度 第 34 回 全国女性建築士連絡協議会 (山形)一

・受付	13:00～13:45
・開会式	13:45～14:15
・被災地報告	14:15～15:15
休憩	15:15～15:30
・基調講演	15:30～17:00
於: 山形テルサ テルサホール	
・大懇親会	18:00～20:30
於: ホテルメトロポリタン山形	

### 令和 5 年 7 月 20 日(日) 【2日目】

・分科会	9:00～11:00
・全体会	11:15～12:00

於: 山形テルサ テルサホール

・エキスカーション

## ■WEB 参加を通しての報告

報告者: 下川 滉美

令和 7 年度第 34 回全国女性建築士連絡協議会(やまとがた)に今回も WEB で参加をさせてもらいました。

7 月 19 日(土)午後からの開会式、被災地報告、活動報告、基調講演と最後まで参加しました。

WAB での参加もずいぶん慣れてきました。

昨年は会場の様子やパワーポイントの資料を画面共有されていたので画面が鮮明ではありませんでしたが見ることができました。今回は会場のスクリーンを写したものの配信だったので配信担当の方がズームをしたり照明を調整していただいていたようです。

会場カメラも舞台を固定で映していたので会場の様子を感じることができなかったのは残念でした。

しかしその分、配信は安定していて音声もしっかり聞き取れましたし、電波が途切れることもありませんでした。私も Wi-Fi ではなく有線で参加したこともあったからかもしれません。

7 月 20 日(日)D 分科会のコメントーターとして参加をしました。

司会の長瀬さん、アシstantoの富山県の酒井さん、コメントーターの高野さんや岡田さんと何度も話し合いをし、また東北ブロック女性委員会・青年委員会配信サポートチームの方にもアドバイスをいただきながら当日を迎えるました。

当日の朝、会場は 7 時から準備ができるということで私も早起きをして 7 時からパソコンの前でスタンバイをしていました。最初会場の web カメラの調子が悪かったりと不安な要素もありましたが始まってみたら練習の成果もありスムーズに進行されて、2 部では高野さんの采配がうまく活発な意見交換もでき時間通りに終わることができました。

私は WEB での参加でしたが会場に参加の方から「お久しぶりです。」と声をかけていただき会場と web も一体となり分科会をすることができたよかったです。

残念なのは、WEB では山形の美味しい食文化にふれる

ことができなかったことです。  
最後になりますが二日間通して WEB に不自由なく参加でき楽しむことができました。  
東北ブロックの配信サポートの方に御礼申し上げます。

## ■全建女やまがた大会に参加して

報告者:長瀬 八州余

長瀬は、東海北陸ブロックから連合会への出向者なので、やまがた大会前日の 7 月 18 日(金)に会場である山形テルサに、14 時より打ち合わせ会議がある為、18 日の朝一番の JR 電車に乗るために家を出ました。新機種不備の為、この時期はまだ山形新幹線が一部運転見合わせになっていたので、東京駅より東北新幹線を利用して、仙台駅より仙山線を利用して、山形駅へ向かいました。

ちょうど仙台駅のプラットフォームにて、連合会運営委員の吉田さんと一緒することができて、約 1 時間半の乗車時間があつという間でした。窓から月山にまだ雪が残っている姿を見る事ができました。



(↑ 雪が残っている月山)

ホテルに荷物を預けて、山形駅周辺でブラブラしていると、石貴委員長と会って、時間があったので、喫茶店に入ったら、連合会運営女性委員の吉田さんと萩原さんに会いました。時間になったので、皆さんで山形テルサに向かいます。



(↑ 駅のコンコースに案内看板がありました)

山形県女性委員の方は午前中から作業をされていました。

皆さんで打ち合わせ会議をおこないました。ZOOM 会議で画面越しにお目にかかる事が初めてでしたが、直接お目にかかるのは初めてです。



(↑ 資料の袋詰め)



(↑ 会議の様子)

明日使用する、大会議室の設営等を済ませて、ホテルにチェックインをして、今夜の懇親会場へ向かいました。



(↑ 大会議室での作業の様子)



(↑ 大ホールにて打ち合わせの様子)

## 【1日目】

7月19日は7時半集合でした。皆さんでホワイエに集まり、連絡事項等を報告して、各々の作業へ向かいました。



(↑ 集合して連絡事項の確認の様子)



(↑ 受付準備の様子)

今回も畠連合の後援があり、ミニ畠作成をしていました。



(↑ 山形県建築士女性委員と連合会女性委員との集合写真)



(↑ ミニ畠作成の様子)

少し早かったです、11時頃お弁当を食べて、委員長会議に備えます。



(↑ お弁当)

受付では山形県のご当地マスコット「きてけろくん」、山形市のお宝広報大使「はながたベニちゃん」、2010年に結成された山形県米沢市に拠点を構える公式戦国武将隊「やまがた愛の武将隊」がお出迎えしてくださいました。



(↑ 「はながたベニちゃん」、「やまがた愛の武将隊」)



(↑ 「きてけろくん」、「やまがた愛の武将隊」)



(↑ 駅近くに有った、きてけろくんの絵のついた自販機)



(↑ 会場周辺にはオレンジのはっぴを着た青年委員が道案内をしていました)



(↑ 今回受付近くに物産販売コーナーが設けられていました)



(↑受付近くで、北海道建築士会冊子の販売と、野瀬氏の書籍の販売がおこなわれていました。)



(↑ 来賓席)



(↑ 北海道建築士会 販売の冊子(左)とチラシ(右)

12:00～13:30 全国女性委員長(部会長)会議

13:45～14:15 開会式



(↑ 石貴委員長 挨拶)

14:15～15:15 被災地報告・活動報告がおこなわれました。

今年は災害時に沿っての発表順番となっています。昨年の山形県と石川県、14年前の東日本大震災後の福島県の活動報告、30年前の阪神淡路大震災後の兵庫県よりの報告でした。

順調に進みすぎて、予定よりも時間が余ったので、急遽、被災地報告・活動報告についての質疑の時間が設けられました。

15:30～17:00 基調講演

17:00～17:05 第67回全国大会「おおさか大会」案内  
第36回全国女性建築士連絡協議会(神奈川)大会 案内

来年の全建女は東京大会で、次の令和9年度は神奈川県での開催になっています。



(↑ 全国大会おおさか大会PRの様子。石貴委員長のTシャツはおおさか大会のポスターです。)



(↑ 第36回全国女性建築士連絡協議会 神奈川大会のPRをする安藤さん)

18:00～20:30 大懇親会（会場：ホテルメトロポリタン山形）

つつがなく一日目は終了しました。

## 【2日目】

山形テルサ集合が朝7時でした。ホテルでの朝食は6時半からです。食べていると間に合わないと思い、昨日の夜コンビニで朝食用のサンドイッチを買って部屋で朝食を食べて、ホテルをチェックアウトして、山形テルサに向かいます。

D分科会の会場である3階交流室Aに向かって、すぐに設営作業です。

山形県建築士会の女性委員・青年委員の方のお手伝い、配信チームの協力のもと準備がきました。コメントーターでリモート参加の下川さんにも朝早くからスタンバっていただき、配信のリハーサルをおこないました。本番では、ラインにて連絡を入れていただきました。



(↑ 配信準備の様子)



(↑ 設営の様子)

9:00～11:00 分科会

11:15～12:00 全体会

全体のスケジュールはこれにて終了。

後は、エキスカーション参加者は、それぞれのエキスカーションへ分かれて参加です。

開会期間中、すごくお天気も良く、大きなトラブルも無く、無事に終える事ができました。

山形県建築士女性委員の皆様、青年委員の皆様、配信チームの皆様、多くの関わってくださった皆様、ありがとうございました。

## ■全体会の報告

報告者：岡田 利里

2日目の最後には、分科会の報告、全体総評、令和7年度第34回全国女性建築士連絡協議会アピールなどの全体会がありました。

岐阜県が担当したD分科会は、長瀬さんが内容を端的にまとめて報告されました。



(↑ D分科会報告の様子)

連合会副委員長斎藤氏の全体総評によると、34回目となる全国女性建築士連絡協議会、今回の参加者は361名(会場294名、オンライン67名)でした。

連合会女性委員長石貫氏のアピールは、

1. 今回の協議会を通じ、建築士として、生活者としての視点から住まいづくりや地域性を活かしたまちづくりを考え、生活に潤いを与える環境づくりを目指します。
2. 今回の基調講演を通して、建築士として持続可能な未来の実現のために、豊かなまちづくり、空間づくりに取り組んでまいります。
3. 災害報告などを通じ、建築士として、被災者を想う心を忘れずに、継続して復興支援のあり方を模索し、災害時における支援活動に取り組んでまいります。
4. 様々な専門分野の方々と連携しながら、建築士としての能力を活かし、安心安全な社会の実現のために日々研鑽してまいります。

でした。

目の前の仕事に忙殺される毎日ですが、何のための仕事なのか、時々は全体を俯瞰する余裕を持たなくてはと思いました。

山形県建築士会女性委員長の開催挨拶では、山形の方言でありがとうという意味の「おしょうしな」を教えて頂きました。

全建女やまがた、参加できて良かったです。山形の皆さん、おしょうしな。



(↑ 山形県建築士会 女性委員長 村山紀子氏 挨拶の様子)

## ■ 委員長会議の報告

報告者:岡田 利里

今年の全建女は山形県ということで、山形新幹線で東京から2時間半くらいかかるので間に合うか心配でしたが、会場は駅のすぐ横なので30分前には到着出来ました。お昼のお弁当も準備して頂いていたので、始まる前に山形名物九十九鶏弁当を美味しくいただきました。

各都道府県活動報告で特に印象に残っているのは、神奈川県の行っている『ちよこっとプランニング』です。C分科会でも発表されていますが、建築士という職業の一端を体験してもらうという、児童向けの職業体験イベントです。新潟県の女性委員会でも神奈川県の女性委員会から学び、昨年度行ったそうです。岐阜県では、『たくみ女子会』改め『交流サロン』で、工業高校や専門学校へ出向きアドバイザーとして建築の話をしていますが、さらに年代の低い児童向けということで、子どもたちの記憶に残り、将来の建築を志す人が少しでも増えるための種をまくという意味で大切な活動だと感じました。

今年度の建築士会全国大会おおさか大会での女性委員会セッションは、『思いっきりバージョン UP ! Part3 ~誰もが参加したい未来の魅力ある建築士会とは~』というテーマでグループワークを行います。既に人数いっぱいで座れない人も出るかもしれないとのことでした。会員数の減少などにより、今後の建築士会のあり方はどの県にも共通の問題で、皆さん興味があるようです。山梨県女性委員会は今年度から一時休会、福岡県は青年委員会と女性委員会が一緒に活動するようですし、長崎県も、今年度からは青年女性委員会として活動することになったそうです。おおさか大会のセッションを通して各県の活動が上向きになればと思います。



(↑ 全国女性委員長会議 受付の様子)



(↑ 全国女性委員長会議 会議前の昼食の様子)



(↑ 会議の様子)



(↑ 古谷会長 挨拶の様子)

## ■被災地報告・活動報告

報告者:高野 栄子

今年も全建女で被災地報告と被災地での活動報告がありました。

はじめに昨年度の豪雨災害があった山形県北部について、山形県建築士会の酒田支部の方々から被害の状況、その後のボランティア活動の経験をお話し頂きました。まとめとして日頃から災害の備えを行い、被害に遭つたら初動から被害を記録し、各申請を迅速に行えるようにする必要があるとのことでした。



(↑ 岐阜県 岡田委員長 活動報告の様子)



(↑ 山形県の報告)

次に能登半島地震について石川県建築士会の山田さんが報告されました。山田さん達は昨年7月に能登半

島へ視察に行かれました。勾配の急な道路や更地になつた朝市の通り、7階建てのビルが転倒したままでカメラを向けるにも気が引けるような光景だったそうです。仮設住宅も建設が進んでいたところに9月に豪雨が襲いました。能登らしい美しい景観はもう戻らないとのことです。



(↑ 石川県の報告)

福島県建築士会からは「福島県建築士会のつどい」について報告がありました。東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故をうけ警戒区域機となった大熊町に見学に行かれたそうです。

線量計を付けて渡橋電力福島第一原子力発電所と、町内にオープンしたバームクーヘン専門店、デニム店を見学し、東日本大震災・原子力災害伝承館にて語り部さん達の活動を感じたそうです。



(↑ 福島県の報告)

阪神淡路大震災から30年経つ兵庫県からは震災後の建築士会としての取り組みや各会員が一建築士と

して関わってきたことを紹介されました。これから話し合い伝えること、そして動く事が大切だという事をお話し頂きました。



(↑ 兵庫県の報告)

短時間での報告でとてもたくさんの情報をいただきました。質疑の時間に長瀬さんが質問されていました。とても勉強になりました。特に深刻な災害が身近に無い私にはとても考えさせられるお話ばかりでした。



(↑ 質疑応答の様子)

## ■基調講演の報告

報告者:岡田 利里

基調講演は、「木造建築の可能性」というテーマで瀬野氏と鍋野氏がお話しされました。

瀬野氏は山形県のご出身で、ゼネコン設計部から独立

された当初、木の事をよく知らないまま木造の自邸を建  
てられ、ご本人曰く「木を知らない」建物だったという教  
訓から、その後、木について深く学ばれたそうです。

効率的に含水率を下げるための高温乾燥は、細胞膜を  
破壊してしまう。一方、天然乾燥材は精油を含む細胞膜  
がしっかりと残っているため腐朽菌を寄せ付けず、丈夫  
で長持ちする。というお話しに、なるほどと思いました。

鍋野氏は、東京と山形の2地域居住を行ってみえ、  
105mmの角材のみで構成している2階建ての建物が印  
象的でした。1階の車庫では 5010mm のスパンとなっ  
ていて、通常ならばこのスパンなら、荷重にもよります  
が 300mm 以上の梁せいが必要になると思います。しか  
し、デザイン的に階高を抑えたいということで、105 mm角  
材を日の字組した上に構造面材を表裏両面張りで補強  
した面材充複梁とする工夫がされています。スパンが飛  
んでいるから梁の断面を大きくするという発想ではなく、  
流通している材料を活かして建築化していく。という姿勢  
に感銘を受けました。

お二人とも山形と東京の2拠点生活されていて、木、山  
への愛情が感じられ、温かみのある基調講演でした。



(↑ 鍋野氏)



(↑ 瀬野氏)

## ■大懇親会に参加して

報告者:長瀬 八州余

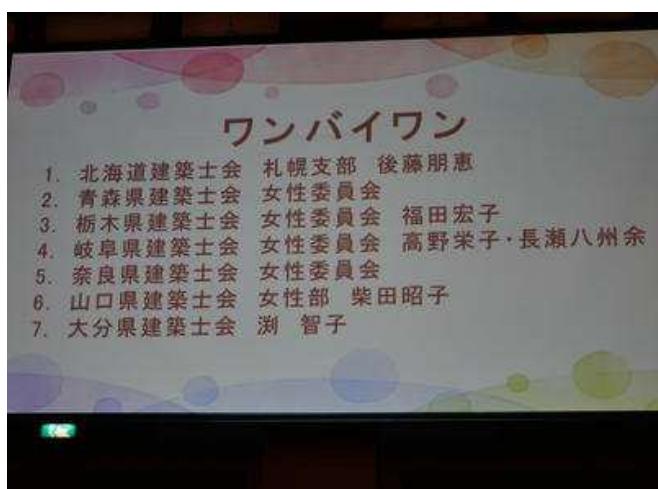
基調講演等が終了後、会場の山形テルサから、JR 山  
形駅を挟んですぐの、大懇親会会場のホテルメトロポリ  
タン山形へ向かいます。

受付にて席を決めるクジを引いて、会場へ入ります。  
両サイドの壁際には、地酒と芋煮の鍋が置いてありました。



来賓挨拶 連合会 上原副会長にお言葉をいただきました。

乾杯の前に「ワンバイワン」をおこないます。



北海道:受付等で販売していた、「失敗から学ぶ」の冊子の説明。



岐阜県:たくみ女子会の活動報告



青森県:3名の方が壇上して、3枚の写真をスライドして、委員会活動の発表



奈良県:委員会活動の発表



栃木県:令和6年度の委員会活動の発表



山口県:委員会活動の発表



## 大分県:第4回大分県建築女子会in別府の活動報告



山形県建築士会 副会長 石山徳昭氏より乾杯の挨拶をいただきました。

大会の受付にてお出迎えをしてくださった「やまがた愛の武将隊」3名がショーを披露してくださいました。「やまがた愛の武将隊」は、平成22年7月29日に結成された米沢市はもとより、山形県全域の歴史文化・観光PRを御役目とする戦国武将隊です。慶長5年にここ出羽国山形で起こった「北の関ヶ原」とも呼ばれる慶長出羽合戦で激戦を繰り広げた上杉、最上、伊達など、山形県ゆかりの戦国武将で構成され、戦国期さながらの迫力の演武や軽快なトークで地元の魅力を全国各地、さらには海外へも発信している団体です。山形県ゆかりの戦国武将たちが、故郷の誉れを喧伝します。



お楽しみ抽選会が設けられました。

14品の山形県ゆかりのお菓子などの景品があり、一品につき2名から3名が当たるので、大懇親会参加者は242名との事ですので、1割以上の方が当たる計算になります。

クジを引いてくださる人は、基調講演の野瀬氏、鍋野氏、「やまがた愛の武将隊」、山形県建築士会 伊藤会長、連合会 上原副会長、連合会 古谷会長と順次変わっていました。

当選者の中には、古谷会長、前の前の連合会女性委員長の小野さん、前の連合会女性委員長の本間さん、古谷会長の奥様、この時はクジを引いた伊藤会長もビックリしていました。鹿児島県から参加の連合会青年委員長もしゃぶしゃぶセットが当たりました。



(↑ 当選者の記念撮影の様子)



(↑ 会場の様子)

中締めの挨拶として大会実行委員長の原田江美子氏の挨拶がありました。



その後、9月に開催される 全国大会おおさか大会の紹介と、来年に開催される全国大会群馬大会の紹介がなされました。



(↑ 群馬県から参加の皆さんに紫色の法被を着ています。)

帰りの出口では、抽選会に外れた人に対して、お土産としてお菓子をいただくことができました。



楽しい、楽しい懇親会でした。

## ■分科会報告

日時:令和7年7月20日(日)

会場:山形テルサと ZOOM

山形県山形市双葉町1丁目2-3

[分科会] 9:00~11:00(120分) 於:山形テルサ 会議室／ZOOM

・A分科会 自分ごととして「避難所運営」を考える。～避難所運営ゲーム(HUG)実施を通じて

司会者：吉田 幸恵（北海道建築士会）

コメンテーター：金子ゆかり（北海道建築士会）

コメンテーター：安谷 潔美（鳥取県建築士会）

・B分科会 古民家復権作戦

司会者：大泉みどり（山形県建築士会）

コメンテーター：安井 妙子（阿部和建築文化研究所主幹研究員）

・C分科会 ちびっこ『ちょっとプランニング』

司会者：萩原 香（群馬建築士会）

コメンテーター：安藤めぐみ（神奈川県建築士会）

・D分科会 「介護保険制度における住宅改修の適正化に関する業務」について

司会者：長瀬八州余（岐阜県建築士会）

コメンテーター：下川 滉美（岐阜県建築士会）

コメンテーター：高野 栄子（岐阜県建築士会）

・E分科会 建築士の役割を一般の方にわかりやすく伝える／林業木材産業との協働の中で

司会者：畠中 みか（和歌山県建築士会）

コメンテーター：須藤亞紀（秋田県建築士会）

コメンテーター：芦辺留美（和歌山県建築士会）

・F分科会 建築士としての「防災」を今、考える

司会者：渡辺 瞳（岡山県建築士会）

コメンテーター：河原典子（神奈川県建築士会）

・G分科会 「伝統と未来をつなぐ古民家再生」

司会者：松田まり子（沖縄県建築士会）

コメンテーター：中野 久美（群馬建築士会）

コメンテーター：近藤 富美（福岡県建築士会）

### 【参加人数(申し込み人数)】

	会場参加	リモート	合計
A分科会	25名	6名	31名
B分科会	49名	11名	60名
C分科会	23名	8名	31名
D分科会	24名	7名	31名
E分科会	28名	5名	33名
F分科会	34名	7名	41名
G分科会	79名	7名	86名

協力頂きほんとに感謝しております。

なにはともあれなんとか無事に終わりとても良い経験が出来ました。



(↑ D分科会の様子)

## D分科会に参加して

報告者:高野 栄子

D分科会は私たち岐阜県がコメンテーターとして参加しました。

「介護保険における住宅改修の適正化に関する業務」について発表し、意見交換を行いました。

私たち岐阜県で行っている活動について、年数を重ねいろいろなデーターが集まりましたので報告させていただきました。1部として下川さんの報告を動画で発表して、2部として報告についての質疑と各県の活動について参加者の方々にお話し頂きました。

秋田県ではバリヤフリーコーディネーター制度があり士会とは別に活動していること、宮城県の方からはチェックリストの作成過程について、石川県では士会では無くNPOとして活動しているということでした。

1部の動画再生は同時にWebで配信されていました、はじめは音声が上手く聞こえないようでした。また会場のWebカメラの調子が悪く、上手く繋がるっていると思うと突然切れてしまい、カメラを操作している岡田さんはとても大変だったと思います。長瀬さんは連合会の委員として、テーマの選定からご準備頂きとても大変で本当にご苦労だったと思います、お疲れ様でした。下川さんはなにもかもお願いてしまい、お手数をおかけいたしました、大変助かりました。富山県の酒井さんにも準備の段階からご協力いただき、一番大変なホストを担当して頂きありがとうございました。愛知県の有村さんにもご



(↑ D分科会の様子)



(↑ 借りたスクリーンが裏からの投影OKの物でした。)

## ■エキスカーション報告

日時:令和7年7月20日(日)

参加者:岐阜県から 2名

テーマ:「山形から発信 みらいへつなぐ木への挑戦」

~雪・山・川がおりなす食文化と共に~

### ●エキスカーションコース一覧

Aコース 文翔館とコパル見学コース

Bコース 羽州街道をめぐる上山コース

Cコース 慈恩寺散策と道の駅 寒河江コース

Dコース 「将棋の将棋の書き駒・紅花染め体験」と「天童木工本社ショールーム見学」コース

Eコース 本館古勢起屋(登録有形文化財)見学と銀山温泉宿泊コース

ば冷たい肉蕎麦発祥の地です。



(↑ 店内の様子)



(↑ 冷やし肉蕎麦と、餅。肉は鶏肉です。)

銀山荘に宿泊の人たちと別れて、バスを降りて、少し歩いて、本館古勢起屋に着きました。

荷物を預けて、白銀の滝まで散策します。



(↑ 日向は暑いですが、木陰や滝の側は涼しいです。)

## エキスカーション Eコースに参加して

報告者:長瀬 八州余

全体会終了後、エキスカーションコース毎に集合して、バスに乘ります。岐阜県建築士会からは、高野さんと長瀬の2名がEコースに参加です。

本館古勢起屋 24名、銀山荘 24名 総勢48名にて出発です。

山形市内を回って、車窓から、「山形ますごと館紅の蔵」「旧吉池医院」「御殿堰」「文翔館」を見ました。  
市内の近い範囲に歴史を残す建物が残っていて、時間があればじっくり見学したいと思いました。

高速道路に入り、昼食会場の「白鳥十郎そば本舗」(河北町)へ向かいます。

冷たい肉蕎麦+餅1個をいただきました。河北町と言え

散策の間に預けた荷物を部屋に運んでくださっていました。宿に戻り、チェックインで鍵をもらい、昨日の基調講

演講師の野瀬氏の説明を受けて、それぞれ自由に見学です。

野瀬氏は本館古勢起屋の大改修計画の設計監理をしており、今でも大きく関わりを持っています。



(↑ 野瀬氏の説明を受ける)

本館古勢起屋は1階、2階は大正時代、3階は昭和初期に増築された建物で、登録有形文化財を目指した作業をしながら大改修をおこない、令和5年8月7日に登録有形文化財に登録されました。

「本館古勢起屋」は大正3(1914)年の建造後、昭和7(1932)年に増築され、さらに長きに渡る全面改修を経た令和4(2022)年7月、ふたたび現代に蘇りました。今回の登録では「国土の歴史的景観に寄与しているもの」として、伝統産業施設のカテゴリーに登録されました。

[建物の解説文](文化庁サイトより)

銀山温泉街の銀山川北岸に所在する木造三階建温泉旅館。入母屋造銅板葺で各階に庇を巡らす。一階表通り側に浴室を設ける当地旅館の典型。客室は元は床構え付和室を並べる。玄関及び塔屋状の構えと、銀山川を望む二・三階の縁は歴史的温泉街の風情を形成する。



家具について質問したところ、中国製だと言うことでした。値段の事もあるが、制作時間がすごく短いとの事です。日本製ではあれだけの時間で納めることは難しいのではないかと言うことです。



(↑ 家具は中国製)

床材について、ふるいままの部分はあるのかと尋ねたところ、床材については階段の一部は昔のままの部分もあるが他は新しくなっているとの事でした。



(↑ 踏面 最初の2段は新しい物ですが、それ以降は古いままです。)

野瀬氏のおすすめの場所は、2階、3階にあるホワイエだそうです。ロッキングチェアに座って、外を眺めのが最高だと言うことです。



私たちの部屋は 301 号室です。



夕食は、少し離れた場所にある、野川亭にて部屋ごとに分かれて頂きました。



(↑ 銀山温泉 夜景)



帰りに温泉街をそぞろ歩いて、途中でスイカジュースを飲みました。銀山温泉は尾花沢市にあり、尾花沢市はスイカの産地です。スイカジュースは、すごく味が濃くて甘く、メロンのような味がして美味しかったです。



今回、本館古勢起屋は、エキスカーションEコースの貸し切りです。宿泊客は全て女性なので、2カ所あるお風呂（大正風呂。硯風呂）は、どちらも時間指定無く入ることができました。手配してくださった山形県建築士会女性委員の計らいに感謝です。



(↑ 芋煮がついていました。)

高野さんは飛行機での帰路なので、遅い時間のバスでした。長瀬は新幹線での帰路で、朝8:25発の路線バスにて帰路につきました。



(↑ 路線バスのバス停とバス。バスは銀山温泉のラッピング)

全建女での泊まりのエクスカーションは、私が知っている内では初めてです。  
新しいことにトライして、私たちを楽しませてください、山形県建築士会女性委員の皆様ありがとうございました。

## 編集後記

55号をお届けします。

全国大会開催が、例年だと10月なのですが、今年のおおさか大会が9月開催なので、らくだ55号は、8月の発行となりました。

マークはひまわりを使用しました。

令和7年度前期(4月～8月)の報告となっています。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。  
また、編集参加、問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

公益社団法人 岐阜県建築士会

岐阜市藪田南5丁目14番地12号



岐阜県シンクタンク庁舎4階

TEL 058-215-9361 FAX 058-215-9367

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

E メールアドレス [kensi578@juno.ocn.ne.jp](mailto:kensi578@juno.ocn.ne.jp)

※ 女性委員会担当まで宜しくお願ひ致します

